

い
ら
っ
か

(平塚市広報紙)

平塚市役所 発行

TEL 1 2 6 1 ~ 70

毎月 10日 価2円

全市域を計画下に

都市計画の区域ひろがる

昨年暮の二十二日、建設省告示第二、〇五四号によって、平塚市都市計画の対象区域が大きく拡張されました。

都市計画というと市街地の専用語のような感じを受ける人もあるでしょう。

活に直接のひびきをもつことにな
るでしよう。

というのは、昨年九月に併合した岡田農業地域を含む全市域が、都市計画区域の指定を受けたもので土沢の山や、市街地をベルト状に囲む田畑や、相模川辺りに広がる原もすべて都市計画下に入ること

事実、いまうでは旧平塚市の地域だけが対象になっていました。時代の流れとして感じとられていた、平塚と周辺地域との関係の深まりは、いよいよ、この都市計画の進むにつれて、目に見え、生

務や作業がなしに遂げられるわけでは
な先のことですが、今度の区域
指定は、その第一歩をふみ出した
ものといえます。

区域指定後の課題

米山係長（建設課）に聞く

区域指定後の課題

米山係長（建設課）に聞く

都市計画の構想

助役 西田 清典

い、五、九〇四ヘクタールの全地に
対し、都市計画区域の指定を
つけたので、この際これが構想の
一端を述べて、市民の皆様の御批
判を仰ぐことにした。



商業地帯
A馬入橋より花水橋間の一帯
B須賀漁港より平塚駅間の一帯

C 平塚駅より八幡地区間の一帯
D、追分を中心に秦野県道沿い
一帯

- 2、工業地帯
 - A旧火薬廠跡の一部
 - B馬入川左岸一帯
- 3、農業地帯
 - A大野、神田、金田、岡崎、土沢、城島、旭地区の一部
- 4、住宅地帯
 - A海岸地域の一部
 - B大野、神田地区の一部
 - C土沢、岡崎、城島地区の丘陵地帯
- 5、公園緑地帯

- A 馬入川、花水川間の海岸地域
 B、千丈敷、高麗山、土沢丘陵
 地帯
 C 花水川右岸地域
 6、道路、下水道
 A 五ヶ年計画により、県市道の
 改修整備の上、全地域に循環
 道路の完成
 B 五ヶ年計画により、下水道の
 抜本整備
 以上は私見に基づくもので、然も
 紙面の都合で概念的であるが、今
 後専門家の意見を徴すると共に、
 なお研究の上早期実現したい。

二年度からは〇・二％となりま
す。都市計画区域に編入されます
と、建築基準法第六条の規定によ
って、建築する場合、建築主は工
事を始める前に、その計画が、法
律や条例の規定に適合するもので
あることについて、建築主事の確
認を受ける申請書を提出しなけれ
ばなりません。

このことは旧平塚市はすでに実施
中です。但し増改築の場合、三
坪以内のものについてはこの必要
はありません。

固定資産税

比企君とは、初対面で他人とおし
こんどの選航は、比企君の花作り
の技術と、人々がらかわれて、家
現を見たものです。

戸川市長も門出を祝い一月二十
日、比企さん宅を訪問、上の写真
はその時の記念撮影です。市長の
左が正治君その後が父善です。

今年、市内ではじめての移民者
でした。

第四期

大野・神田
岡崎・金田
土沢・城島

花作りにアルゼンチンへ

比企君、今年初の移民

去る五日、横浜港を出た移民船
あふりか丸で、市内徳延出身の比
企正治君(24)が、単身アルゼン
チンへ渡りました。

正治君は、部落長をつとめる比企満栄さんの次男坊、平農で花の栽培を専攻、県立二宮農試につとめていました。フエノスアイレス



固定資産税第四期

大野
岡崎
土沢
神田
金田
城島

市勢ダイジェスト 面積と人口				
字別	管内別	面積	世帯数	人口
総計	管内	59.82	20,150	96,637
旧市	数計	14.20	4,668	14,204
平塚	新	5.61	24,951	3,619
平塚	新	3.66	17,527	831
馬場	新	831	4,031	2,915
須賀	新	297	1,532	11.65
松戸	新	242	984	538
袖ヶ浜	新	372	99	48.17
龍ヶ崎	新	5.94	31,965	13.32
周辺地域計	管内	3.74	676	3,083
大野支所	管内	3.74	345	2,894
神田出張所	管内	3.51	268	1,703
城島	管内	2.87	333	1,899
岡崎	管内	6.52	709	3,945
金田	管内	11.45	608	3,961
旭土	管内			
沢	管内			

港浚渫について
二十九日 清掃対策委員会、
南原に建設のコンポストについて

二十一日 区画整理促進委
員会、陳情、区画整理計画につ
いて

限集した汚物処理

解決コンポストに期待

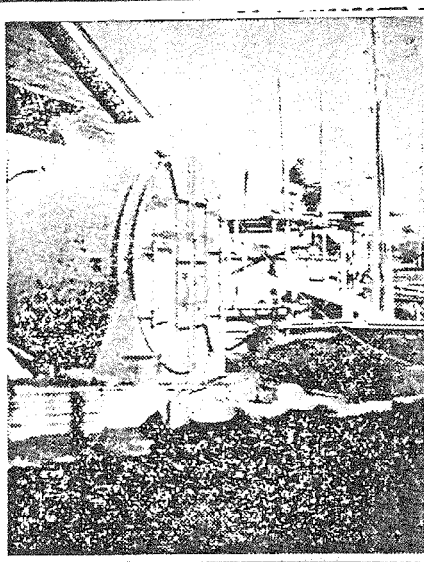
試験装置の完成いそぐ

ゴミと便所の汚物をかたづけるとは、まちの大きな、そして切実な問題となつて来ました。

し尿(便所の汚物)を農業地帯へ運んで肥料にという考え方は、だんだん通用しなくなっているのです。下ごえと呼ばれる汚物の利用は、科学肥料の出まわりと農村青年の近代感覚によつて、農業からしめ出されようとしています。同時に偏癩病や寄生虫病の原因として解決を迫られているのです。

その上、まちが大きくなればなる程、農村へ運ぶくらいでは、かたづけきれなくなり、海へすたす。このままでは、一日約九トン

のし尿、まちが大きくなればなる程、農村へ運ぶくらいでは、かたづけきれなくなり、海へすたす。このままでは、一日約九トン



りして、複雑な社会問題を引き起こしています。

ゴミも市営で焼くか、埋立地に送るかしてありますが、大きな経費がかかる上に、完全な処理とまでいえず、まちの研究課題になっていました。

今平塚市では六つの衛生社、計四〇〇人の従業員によつて、一日約四十四トン(二四三)のし尿をくみ出し近郊に設けた貯溜槽(二二基、容量一〇〇トン)に五、五〇〇に送って肥料にしています。しかし長期になると始末しきれなくなっていました。市直営のゴミ処理では、一日約九トン

のし尿、まちが大きくなればなる程、農村へ運ぶくらいでは、かたづけきれなくなり、海へすたす。このままでは、一日約九トン

写真上 南原の市営ゴミ焼場北隣に建設中のコンポスト試験装置

市議会議員の増員選挙

昨年の、九月三十日の合併の際に、合併関係町村の間で議決された合併条件に関する協議により、新市域より代表を出すための

花水川に桜五百本

鉄橋から、上流は玉川橋までの間に五〇〇本の山桜と大島桜を植え

られ、この十三日植樹式が挙げ

言われ、この十三日植樹式が挙げ

中では、し尿を化学的に、しかも多量に処理することが出来る、コンポスト(NC式じんかい・し尿高速堆肥化装置)の試験が行われることになったのです。

これは、市が土地と労力を提供日本コンポスト研究所(東京都京橋)がつくり実験試験を行うもので、結果がよければ、ゆくゆくは市が買い受け、ふくれ上る平塚の汚物処理に、主役として使われることになりま。

総工費一、三〇〇万円を投じ、南原のゴミ焼場北隣一五〇坪に工事中で、今月十五日には完成する予定です。

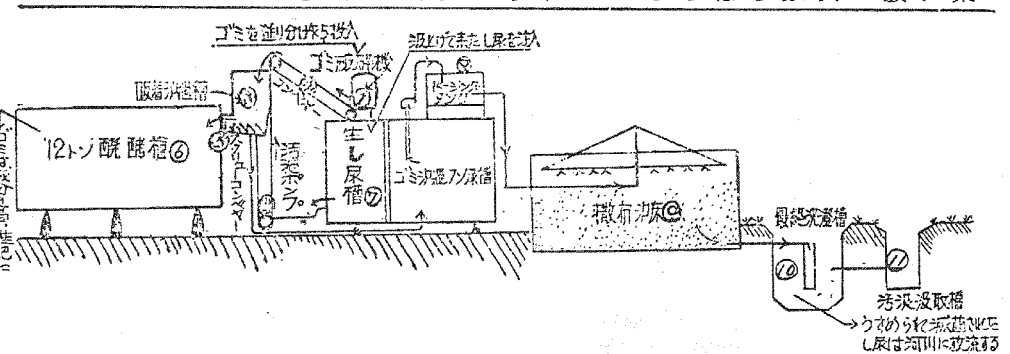
もしこの装置の結果が良く、実際にこれから使っていくものとして考えた場合、試験的に作った装置の一〇倍ぐらいの能力を必要としその敷地は一、五〇〇坪程度を要することになると計算されています。

ともあれ、このコンポストの試験装置に寄せられる期待は大きく市関係者はもちろん、厚生省でもその成績を注目しています。

コンポスト (NC式じんかい、し尿)の構造とはたらき

(堆肥はどうして作られ、し尿はどう処理されるか)

- まず木片、炭灰、古靴、ボロ布など、大形でかたい、堆肥にならないような物を選び分けながら、ゴミを破砕機①に投入してこまかくし、コンベヤー②で吸着ろ過槽③に送りこみます。
- 次に生し尿槽④から、汚泥ポンプ④でし尿を吸いあげ、吸着ろ過槽の中のゴミの上に撒布します。
- 吸着ろ過槽③のゴミを通つたし尿は、自動的にドーピングタンク⑤に入り、水で18倍にうすめた後、撒布ろ床⑥にふりまき、こし水のようにして最後に最終沈澄槽⑥に溜めこみで塩素滅菌を施してから、河川に放流するので、衛生的で非常に多量の処理が可能です。
- 一方、ゴミと、し尿の混合物は、吸着ろ過槽③の中でし尿をろ過した後1夜を過ぎ翌朝スクリーコンベヤー⑤で大きな円筒形の醗酵槽⑥に送り込まれます。
- 醗酵槽⑥は、1時間9回転のスローでまわり、中のゴミと汚物は、60〜65度の熱で醗酵、2〜3日で堆肥化して、自然に外へ押しだされます。



ねみ蚊は退治好機

て殺菌剤を撒きましよう。はえと蚊の駆除もいまだです。数が少く、活動の鈍い冬のはえは、少し気をつけられはとることが出来るでしょう。いまのはえ一匹は、夏の二〇、〇〇〇匹にも匹敵するといわれます。

はえは、成虫、幼虫、蛹のいずれかかたを冬をこし

した。従つて三十二年度に決まった評価額は、三十二年度までの間、据置かれるのでありまして、今年度は、昨年中に資産の移動があった人についてだけ、新しい評価額によつて登録し、変りない方は前年度と同じ価格が登録されました。この評価について異議のある方は、三月二十日までに

市政漫步

森比呂志

櫻光協会と市では十二万余円
撥じて、花水川の両岸、下流は
三年後には美しい花を咲かせると
いふ話。

「さういふことは、さういふことだ。」

立派な桜並木に育つよう、若木をみんなで愛ししょう。



平塚新名所 春はさくら、秋はなでしこ、
これでほんとの花水川

かねて計画中の、太田道灌の像
碑と、花水川畔に桜並木を造営
するの件がよいよい実現をみる

くことになつてゐます。今後五十年のうちに、花水川畔の桜並木が、平塚市の名所のひとつになるでしよう。それに付けても、市民のみなさんにお願いたいことは、平塚市を美化する運動に御協力を得たいことで、いかなれば、こうした仕事は

以上、文化市長めいて、えらくのんきなことばかり書いたようですが、さいごにひとつ、新市域のみなさんにお願ひがあります。

この消費税は
本年度一、二八〇万円、来年度は
二、七〇〇万円も見込まれていま
す。
ばかにならない 煙のゆくへ
平塚の赤字総額を補つてあまりあ
るわけです。

この評価は、いまでも毎年一回行っていました。が、こんど、税法の改正によつて、三十一年度から以降三年目ごとを基準年度と呼んで、基準年度に当る年に再評価する、つまり三年に一度だけ固定資

しどしど求職の申込みを持ちこんで
長い職をつかんで下さい。

お米の集荷状況

県下の昭和三十一年産米の集荷は
急速に進み、昨年十二月末で、
九四、八七三石に達し、買入予定
数 九八、六五二石に対し、 九

たばこ 知っています

皆さんのくゆらす煙草の代金の
一〇〇分の九は、市の建設事業や
教育費に生かれています。

か煙のゆくへ

昨年四月から約六ヶ月間に、平塚市全体で売上げた煙草は

二九、一八八千余円の巨額に達し、二一、六三八千円の消費税

に間違ひはないだろうか、たしかめて下さい。期間中は、どなたでも気軽に市役所税務課の固定資産税係にお越しになって下さい。

来年度（四月から）の固定資産税の課税の基礎になる価格は、今

保鮮業の求人増加が原因で、雇用量の増加にうれしい悲鳴と言ったところ……しかし、これは職業安定所の窓口での話、県内の滞在失業者の数は、まだまだ多いとのこと。

資産評価額きよめる
台帳、三月一日から従價
あなたの三十二年度分、固定資
産税を計算する台帳（固定資産課
税台帳）が、来る三月一日から同

で一言にねずみとを言ひつゝとす。

ねずみの住家をなくし、餌になる食物や台所のゴミなどいつもかなすけておき、揃つ

二十日までの期間縦覧に供されま

捨てると効果的です。
蚊、は物置、納屋、えんの下など暗い所にひそんでいます。これは殺虫剤をまけば簡単に駆除できます。

經濟界の好況はシムン以來とか
 昨今、求人もぐんとのびています
 大部分が大企業からの求人で、
 県内でも、昆弓工、有技能者の不
 足をきたし、各職業安定所は、い
 まこの戦せんに懸命の状態です。
 寺二重吉郎君の父親、この周

第二選挙区 大野地区 定数五人
第二選挙区 神田地区 定数一人
第四選挙区 城島地区 定数一人
第五選挙区 金田岡崎地区 定数一人
第六選挙区 土沢地区 定数一人
選挙日程など、この増員選挙に
関する詳細は、追って発表されま

ねずみ とりには、今が
絶好の季節なり。

とり方は、バチンコ、金網
から、殺鼠剤等いろいろあり
ますが、一ばん効果のある
方法は、広い地域の全部の家

ます。
家はえは、冬でも腰いところへ集まって来ます。見つけ次第退治して下さい。蛹は便所の汲取口のまわりや、ゴミ捨場などにもぐつていますから、この土を深く埋めるか瓦

平塚市固定資産評価審査委員会
に審査請求を出すことが出来ま
す。その旨紙に固定資産税係にあ
ります。

大企業の求人増

安定所求職者を募る

市長日記

(9)

若木五百本を譲り受けたので
す。東京都の好意と御馳旋下す
った農研所長の梶浦博士にたい
しては、みなさんと共に感謝い
たしたい。ことに、花水川畔の
桜並木については、桤樹や管理
にまで、梶浦さんと農学校長の

櫻は植えてもこれを保護育成する気持ちがなくては問題になりません。枝を折ったり、花をむしったりすることは、市民としてみずからの無教養をさらけ出すことであり市民の矜持を傷つけることであります。

わが住む都市をいよいよ明るく美しく、住みよい町にしようとする心をつちかうだいじな仕事なのであります。そういう意から、四之宮の人情芝居を、いわゆる相模文楽として復活させたいと思っているのです。地

われまですので、その意義も充分御理解のことでしょう。新都市として大平塚市を建設するため、市政に参与する権利を正しく行使されるようおねがいする次第であります。

就 職 案 內 (2)

男 性 求 人		
職 種	人員	賃金(最高)
旋 盤 工	3	15,000
ボーリング工	2	20,000
ブレーナ工	1	15,000
ボイラーマン	1	8,000
製 罐 工	3	日 550
板 金 工	6	〃 〃
仕 上 工	4	〃 〃
小型自動車修理工	2	9,000
化 学 工	5	日 350
機 械 見 習 工	25	8,900
ボ ー ル 盤 工	2	時 70
設 計 製 図 工	10	28,000
押 出 工	17	7,000
電 気 組 立 工	7	25,000
検 査 工	7	〃
電 工	5	13,000

その外多数求人あり

問い合わせは平塚公共職業安定所へ。
女性求人はぶきました。

ありがとう

歳末持寄り

昨午、社会福祉協議会が中心となって、一ヶ月間にわたってひろげた第四年末一品持寄り運動は、多くの市民から、たすけあいの心こもった品々が寄せられました。

年末、年始にかけ、贈り先の家庭から、市長宛に社状も何通か、とどいています。

あたたかい運動でした。

御協力に頼るの意味で、結果報告をします。本当にありがとうございます。

- 持寄り品
- 衣料品 一一、四八八点
- 食料品 一五七、三五五合
- 日用品 一一、二〇六

地区の話題

旭有線放送へうごく
有線放送は、今や農村文化生活の花形になった感じ。

臨時伊勢原では、全町に有線放送網を計画し、成瀬が四百数十万円を投じて、全国的なモデル施設を作りあげたのをはじめ、このほど、比々多、太田の二地区も工事完成、通話と放送を開始しています。

わが平塚市でも、伊勢原に近い

寄附金 一七、二五七円
寄附金は全額次の品物にかえて贈りとしました。

食料品
砂糖 七二六合(二〇〇人分)
醤油 七二六合(二〇〇人分)

日用品
石けん 七二六合(四ヶ入り)
キット 三九点(石けん・タオル・チリ紙入り)

北海道にも送る

うたと寒さにおののいている北海道の冷害地へ、すでに二〇回にわたって、平塚から援助を送ることができました。

詳しい報告を申しあげる前に、この紙面で中間報告をします。

現金 一一五、九二五円
品物 一七〇包(衣類など)と
三、〇九七点
を扱いました。

引き続き、救援のしごとを続けま
す。わずかなものでも、一片のあ
たゝかい心でも、北海道の人達に
は、命の綱を得たような、勇気と
生きる張りあいを与えるのです。

論文・作文を募集

国連加盟を記念して
国連協会では、日本の国連加盟を記念して、各地で国連のつどいを開催、国際理解と国連普及につとめていますが、この運動と同時に、記念論文と作文を募集しています。ふるって応募下さい。

A 論文の部

- 1題 国連加盟と日本の責務
- 2題 応募資格 県内在住、在勤、在学者
- 3原稿 四〇〇字詰原稿用紙二〇枚以内
- 4締切 三十二年三月末日
- 5賞金 一等 一八、二五〇円 外一等 一八、二五〇円
- 6送り先 県庁内・国連協会神奈川県本部事務局

B 作文の部

- 1題 国連加盟に関するもの
- 2題 応募資格 県内高校・中学校に在学する者
- 3原稿 四〇〇字詰原稿用紙二〇枚以内
- 4締切 三十二年三月末日
- 5賞 賞状及び賞品
- 6送り先 学校所在の市役所又は地方事務所(広報主管理)

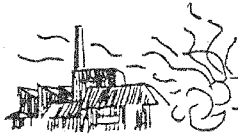
大火シーズン

燃えない工夫、消かない注意

一火事の電話一

(火事)又は 119番

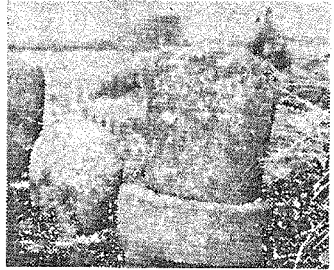
防犯の要と注意に付きおぼしめます



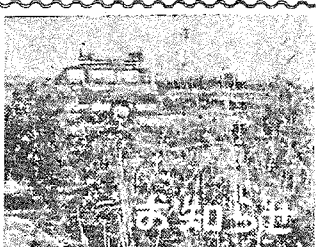
名勝と史蹟

がく叟宗俊の墓

平塚市寺田堀(てらだほり)瑞雲山吉祥院は曹洞宗に属している。開山のがく叟宗俊(がくそうしゆん)禪師は、文明十二年(1486)十一月十九日に卒している。この年は、太田道灌が糟屋の館で上杉定正のために謀殺された年である。いまから四百七十年をさかのぼる。



がく叟宗俊は駿河国富士郡の人。幼時しりし屋宗能(しりしおくそ)の侍者となつたが、鋭い権機をもつていたので、ついにその法を嗣いだ。寛正元年(1480)伊豆国下田に福寿院を開き、居ること七八年、相模国大住郡羽根村に移り、春窓院を建て、修禪の処としたが道を問ひ徳を慕う者たちがあまた集り来つたので、隣城田原村(秦野市)へ香雲寺をひらいた。ついで武蔵国豊島郡石浜庄(東京浅草橋場)に総持寺を開き



課へ申し込んで下さい。

平塚愛刀研究会

く埋もれている文化財を世に出そうという文化財保護活動が自主的に行われています。平塚愛刀研究会がそれ、伝統を誇る名刀、宝刀が朽ちるにまかせるのは惜しいというわけで、発見保護に愛刀者が集つた愛好家のグループです。

危険物取扱主任者の講習と免許試験

油類、カーバイト、酸類などを貯蔵したり取扱う人は免許証をもつていなければなりません。この講習と免許試験を行います。申込 二月二十三日まで 講習 二十五日 午前十時 試験 二十六日 午前十時 申込所 会場とも市消防本部 受験料 一〇〇円を要し、合格者に免許証を交付します。

新年青年のつどい

さきに開催した婦人のつどいに続いて、教育委員会主催の、青年のつどいが催されます。意見交換と合唱、レクリエーションを通じて親しみあいを深めようというものです。

開国から百年

神奈川県のあゆみ、県史、産業、経済、文化、外交など、あらゆる角度から捉えた豪華版で、三五頁、頒布価格は三七〇円。助言者 県教育庁社会教育課 小島主事

2月平塚競輪 22日・25日